

かながわ

看護連盟通信

No.
75

Kanagawa
Nursing league Letter

発行：令和4年11月



当選おめでとうございます



ごあいさつ

神奈川県看護連盟会長代行として

光谷 和子



日頃より看護連盟活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
ございます。

この度、会長の近藤美知子氏は日本看護連盟の幹事長に就任することになりました。

後任の看護連盟会長を選出するには、規約により来年の総会まで待たねばなりません。その間、副会長が会長を代行することになります。

微力ではありますが、全力を尽くして当連盟の発展に向けて誠心誠意努力してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

この度の第46回参議院議員選挙で、友納理緒議員は神奈川県
の得票数（4,982票）、自由民主党全国では（174,335票）で当選する
事ができました。誠にめでとうございます。これも連盟の会員の皆
様のご支援と感謝申し上げます。

これからは、国会で力を出していくためには、多くの現場の声を
寄せていただくことが必要です。皆様、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が続いています。病院、施設、訪問
看護ステーション、等で働く看護職の皆様は、緊張と疲労で心身と
もに疲弊をしているのではないかと思います。

看護連盟で何ができるか、ご意見をお寄せください。それらの意
見をまとめて国会議員の皆様へ提言をしていきたいと思ひます。



当選ごあいさつ

参議院議員 友納 理緒

新型コロナウイルスの感染の再拡大が続くなか、日々医療の最前線で尽力されている皆さまに心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

この度は、第26回参議院議員通常選挙にあたり、神奈川県看護連盟の皆さまより多大なるご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。皆さまのおかげで当選を果たすことができました。いただきました「174,335票」という大切な票の1票1票の重みを日々実感しております。

今回の選挙では、「看護の明日をつくる」「看護をまもることは、いのちと生活をまもること」をスローガンにさまざまな政策の必要性を訴えてまいりました。人員配置や働き方、処遇、子育てとの両立など看護職の働く環境を整えることは、決して看護職だけの問題にとどまるものではなく、安全かつ充実した医療・看護の提供につながるものです。助産師外来や院内助産の推進、保健師の増員、訪問看護の充実など看護に関する制度を整えることは、すべての世代の皆さまが穏やかに社会で生活するために欠かせないものです。選挙期間中、連盟の皆さまと一緒にこれらを訴えることで、日々少しずつ看護職だけでなく一般の方にも支援の輪が広がっていったように感じています。

また、この選挙戦、各地で応援弁士の先生方、街頭演説に立ち止まって下さった皆さまから、多く聞かれた声は、このコロナ禍、医療の最前線で真摯に職責を果たす看護職への感謝の言葉でした。この日頃の皆さま方の活動こそ

が、今回の結果を導く大きな要因になったとも感じています。

神奈川県看護連盟の皆さまには、選挙期間中、たくさんの街頭演説の機会をいただき、ともに駅前などに立たせていただきました。人生で最も長い期間を過ごしてきた神奈川県です。昔住んでいた地やよく遊びにいった地、友人が住んでいる地などゆかりの地も多く、他県とは違った緊張感がありましたが、多くの笑顔でお支えいただきました。とても暑い中でしたので、立っただけでも大変だったと思います。お心遣いに心から感謝申し上げます。

看護にとってこれからの6年はとても重要な6年間となります。看護職の視点から気づいたことを、弁護士視点から分析し解決していくこと、これが立法院における私の役割です。皆さまの力でスタートラインに立たせていただきましたので、訴えた政策を、現場の課題を、共有させていただきながら、法律や制度の見直しに義務感と責任感を持って取り組んでいきます。

令和4年7月26日より参議院議員としての活動が始まりました。現在は早速、厚生労働省に現場の声を伝えたり、いかに受診を抑制し現場のご負担を軽減していくかなど検討を進めています。

看護連盟、看護協会の皆さまとともに歩む6年間とさせていただきます。

どうぞ今後ともより一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

参議院選挙活動を通じて思うこと

青年部 長島 敦史

今回の参議院選挙は、2021年に私が青年部に所属して初めての選挙活動でした。先輩方にご指導いただき、無事に候補者の当選という形で選挙を終えることができ安心しています。

私は5年前に臨床を離れ、現在は看護基礎教育に携わっています。この3年間、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨床現場のご苦勞を基礎教育の立場から見てきました。実習を依頼する側で臨床のご苦勞を聞いていました。また、現場で活躍している同じ看護職、先輩や同期、後輩の大変さを想像するたびに、臨床で仕事をしていない看護師としての自分に対して、何か後ろめたさのような気持ちを抱いていました。

さらに、今回の参議院選挙に際しては、候補者への支持を訴えるための選挙活動をする事に対して、他者の思想信条に関わることに、私が踏み込んでよいのか躊躇する気持ちがありました。そのようなときに、選挙活動に際して連盟の先輩から聞いた「頂いたお役目なので後輩のために精いっぱい果たす」という言葉が頭に浮かびました。看護職の代表を国政に送ることは、看護職の待遇改善に繋がります。その活動に参加することは看護職を支援することです。先輩の言葉で、看護師である私が選挙活動を通じて、臨床で仕事をしていなくても、その現場を支援することは



できると考えられるようになりました。そのように考えることで、“選挙活動で自分のできることをしよう。それが現場を支援する自分のできること”という気持ちがわいてきました。

6月26日の神奈川県内における候補者の選挙遊説は、猛暑の中での活動となりました。私は車での遊説車の先導、遊説会場でのピラ配り・応援コールの役割を頂きました。演説会場には多くの看護職が集まり、ともに候補者を応援しました。その応援に私も力を頂き、8時の登戸駅から19時の小田原駅まで、予定されたすべての場所での遊説を終えることができました。大先輩にご同乗頂きながらの遊説車の先導は、私にとっては貴重な経験でした。帰宅した時に、無事に無事故で一日を終えたという心地よい疲労感忘れられません。

今回の選挙だけでなく、看護連盟の活動を通じて、多くの看護職の方々とお知り合いになり、仕事をさせて頂いています。連盟での活動は、私の看護職としての幅を広げ、仕事へのモチベーションを高める機会となっています。今後とも看護職として役割が発揮できるよう活動していきたいと考えています。



令和4年度 通常総会

6月11日(土) 参加者65名

報告事項及び審議事項は無事承認されました。

令和3年度 収支計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入総額 83,601,414円

支出総額 23,635,405円

収支差額 59,966,009円

[収入の部]

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	備考
I 会費	18,000,000	17,328,000	672,000	正会員4,299人(内70歳以上29人) 賛助会員69人 合計4,368人
II 助成金	9,750,000	11,715,740	△1,965,740	日本看護連盟助成金
III 雑収入	610,000	66,698	543,302	広告料等
A 当期収入合計	28,360,000	29,110,438	△750,438	
前期繰越収支差額	51,300,000	54,490,976	△3,190,976	前年度繰越金
B 収入合計	79,660,000	83,601,414	△3,941,414	

[支出の部]

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	備考
I 会議諸費	2,500,000	1,390,435	1,109,565	会場費、総会資料印刷代等 県役員会議4回、県役員・支部長会議1回、 県役員・支部役員合同会議4回
総会費	700,000	497,118	202,882	
役員会費	1,800,000	893,317	906,683	
II 事業活動費	13,000,000	8,985,101	4,014,899	組織活動費、機関誌発行費等 職域活動交付金
活動費	10,650,000	7,816,855	2,833,145	
職域活動費	1,500,000	1,000,000	500,000	
災害対策費	150,000	0	150,000	
III 運営費	14,600,000	12,904,489	1,695,511	会長、事務局職員給与等 事務室賃借料、物品リース料、消耗品費等
人件費	7,600,000	6,355,188	1,244,812	
需給費	7,000,000	6,549,301	450,699	
IV 支部交付金	3,500,000	355,380	3,144,620	11支部への交付金
V 予備費	500,000	0	500,000	
C 当期支出合計	34,100,000	23,635,405	10,464,595	
A-C 当期収支差額	△5,740,000	5,475,033	△11,215,033	
B-C 次期繰越収支差額	45,560,000	59,966,009	△14,406,009	次期繰越金

令和4年度 事業計画

重点方針

見える活動、行動する会員、確かな組織づくり

目的	目 標	方 針	活 動
政治力・政策実現力の強化	1 看護職国会議員の選出・支援	<ul style="list-style-type: none"> 第26回参議院候補予定者を当選させる。 現職看護職議員の支援強化 公職選挙法の順守 	<ul style="list-style-type: none"> 組織代表候補者を高得票で当選を勝ち取る。 選挙総括を行い次期選挙への課題を見出す。 公職選挙法の研修や選挙手引きを活用し安全な活動を進める。
	2 看護政策の実現	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟、ブロック協議会との連携を密に、政策実現力の強化を図る。 現場の声の把握と改善（感染症対策含む） 	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟の活動を会員に周知し、当県での活動に活かす。政策セミナーに多くの会員に参加してもらい政策提言力の強化を図る。 現場の声を聞き取り集約し、課題や政策について看護職国会議員や県議会等に要望する。
	3 看護を理解する国会議員の支援と確保	<ul style="list-style-type: none"> 県選出の国会議員との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 看護問題対策議員連盟に所属する国会議員との連携を強化し看護政策活動を評価・支援する。
	4 地方議員への影響力強化と支援	<ul style="list-style-type: none"> 看護政策実現力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県議会と看護問題を語る会を設置する活動を進める。
組織力の強化・拡大	1 会員の確保対策	<ul style="list-style-type: none"> 入会数増の具体的活動 	<ul style="list-style-type: none"> 会員数を減少させないために、看護連盟の活動などを広く周知して行く。 以前入会していた施設を洗い出し、入会を勧める。 施設訪問ができない中、電話での現場の声を聞き取り活動に繋げることで、看護連盟の存在意義を分かってもらう。 新入看護職員の入会について、看護管理者に依頼する。 看護師養成機関の学生に対して青年部による研修会を開催できるように働きかける。
	2 看護連盟、看護協会の連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟、県看護協会との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟と連携を密にし、県協会と選挙戦略で連携・協働を進める。 協会との合同会議を有効に活用し新たな活動につなげる。 年1回の合同研修会を有効に運営する。
	3 広報活動の強化充実	<ul style="list-style-type: none"> 会員に向けた広報活動の充実・強化 インターネットを活用した有効な情報発信 日本看護連盟との情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく、面白いSNSの充実 Webアンフィニの登録数を広める活動をする。 オンラインを有効活用できるように勧める。
	4 看護連盟の活動の強化及び周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> 自立した会員の育成を目指した研修の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟の情報や看護職国会議員の活動を看護管理者等に発信し、看護連盟の活動を広める。 県役員、支部役員に対して、情報を共有し活動につなげる。
	5 支部組織の活動の強化・促進	<ul style="list-style-type: none"> 支部役員の役割の意識とモチベーションの持続 施設連絡員への情報発信を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを使用して、看護職国会議員と繋がりを持ち政治への意識を高める。 研修会の講師となりモチベーションを高める。 施設連絡員の配置推進
	6 効率的組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 財政等の健全化と適正化 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な見直しを進める。
	7 若手会員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 若手会員の活性化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 全国青年部会議・ブロックミーティングに出席し情報を共有し県独自の活動に活かす。 青年部会議を定期的に開催し、若手会員に発信する。 看護師養成機関の学生対象の研修講師を務め成長につなげる。 ホームページに青年部活動を掲載し、関心を高める。
	8 関係団体、関係組織との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 看護協会以外の関係団体との交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地区看護部長会との交流を深める。 神奈川県助産師会、訪問看護連絡協議会等との交流を深める。 支援団体との交流を深める。
会員の福祉の充実	1 災害への対応	<ul style="list-style-type: none"> 県内の災害発生時の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の災害発生時、情報収集し日本看護連盟に報告するとともに支援する。
	2 福利厚生への対応	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護連盟、神奈川県看護連盟内規に基づいた対応 	<ul style="list-style-type: none"> 名誉会員への対応 物故者への対応 慶弔等への対応
	3 諸問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 会員の安全の保証 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスに基づく政治活動、選挙活動のための情報交換を行う。 諸般の疑問・問題には専門家と相談し速やかに解決する。



全ての看護職者に聴いてほしい 「力が湧いてきた」

令和4年度 第1回 神奈川県看護連盟研修会

日時 9月21日(水) 15:00~16:30

場所 横浜ロイヤルパークホテル 70階

テーマ 看護の明日を創る「看護政策を実現するための取り組みについて」

講師 日本看護協会長 福井 トシ子 氏

受講者の感想

令和4年9月21日、ハイブリッド形式で研修が開催された。講師は日本看護協会の福井会長で、看護の明日を創る「看護政策を実現するための取り組みについて」と題しての研修であった。私は、看護連盟会員歴40年、看護管理者10年目、そして県看護連盟役員2年目。どんな話を聞くことができるか、とてもワクワクして参加した。

最初に看護協会の重点政策・重点事業について3年計画で推進していく事について項目ごとに詳細な説明。

次に、看護職の処遇改善について「職員の声」、「アンケート結果の分析」。そして、今年度の「看護職員の処遇改善の実現」について。政策プロセスでは、「法律をつくる」ことについてであった。

そしてさいごに

- まずは、連盟会員との対話
処遇改善の動きは好機
- 連盟会員の役割意識の統一
連盟会員なら誰もが自己役割を話せることが重要
- 連盟・協会が共通の目標に向かっていくことの実感が重要
- 神奈川県看護連盟の活動の可視化していく

であった。

私は、看護連盟会員が少ない、選挙になってもなかなか協力が得られないと嘆いていた。しかし、連盟会員と対話をしてきたらどうか、看護連盟の役割について理解しわかりやすい言葉で語っていただけるか、協会と連盟の目標は同じであることを伝えていただけるか。自身に問いかけてみた。まだまだ、やらなければならないことがあることに気が付いた。

福井会長の活躍は素晴らしい。コロナ禍にあっては、168万人の看護職能のことをメディアで伝え、7月の参議院選挙には最前線で活躍されていた姿がとても印象に残っている。喜び、悲しみそして苦労を共にできる素晴らしいリーダーのもと私たちは、これから看護を担う後輩のために頑張り続けることになる。

令和4年9月27日

県役員(相模原支部) 濱 悦子



会員交流会 参加者募集

日時 令和4年12月28日(水) 12:00~16:00頃

会 食 横浜ロイヤルパークホテル (ランドマークタワー70階)

コンサート ベートーヴェン「交響曲第9番」
ウクライナ国立歌劇場管弦楽団／同合唱団
横浜みなとみらいホール 大ホール (S席)

募集人員 50名 (先着順) **参加費** 15,000円

申込締切
令和4年
11月11日(金)

詳しくは当看護連盟に
お問合わせください



よく眠った人には、かなわない。
Lumone
ルモネ

The joy of sleeping comfortably



世界に誇れる羽毛ブランド
HARUO DOWN

いい羽毛からしか、
いい羽毛ふとんは生まれない。

GOOD DESIGN



HARUO
DOWNの
詳細はこちら▼



東洋羽毛首都圏販売株式会社横浜営業所 〒241-0031神奈川県横浜市旭区今宿西町1952-1 TEL 0120-00-7663

入会案内

令和4年度 看護連盟会員募集

一人でも多くの方の
入会により、現場の声を
国政に反映させましょう



正会員

年会費 **9,000円**
(7,000円)

看護協会会員である人
日本看護連盟 / 5,000円
神奈川県看護連盟 / 4,000円 (70歳以上の人は2,000円)

特別会員

年会費 **9,000円**
(7,000円)

正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会会員でない人
日本看護連盟 / 5,000円
神奈川県看護連盟 / 4,000円 (70歳以上の人は2,000円)

賛助会員

1 □ **1,000円**
※何口でも可

看護連盟の主旨に賛同する人 (看護職でなくても入会可)

学生会員

年会費 **無 料**

看護学生で看護連盟の主旨に賛同する人

お問い合わせ

事務局

TEL (045) 263-2801 FAX (045) 263-2802
e-mail: office.kanagawa@kango-renmei.gr.jp



神奈川県内の遊説日は青空で暑い日でした。当選しました。
コロナ感染症はまだまだ続きます。一丸となり闘いましょう。



広報委員

小柳 正子 山内美智子
畠山 友子 中村 茂雄

